

## 平成30年度養殖衛生管理技術者養成研修実施概要

### 養殖衛生管理技術者養成研修コースの構成

名称	受講対象	研修内容	受講人員	開催回数・日数	開催場所等
本科コース	地方公共団体等が推薦する者	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術の講義、実技研修	基礎コース 実習コース 専門コース 計50名を下限とする	各コース年1回開催し、1回2週間程度	基礎コース7月～8月 実習コース8月～9月 専門コース11月～12月 公益社団法人日本水産資源保護協会又は研修設備等が完備された場所
特別コース	地方公共団体等において、養殖衛生管理を担当する者、並びに協力する者	養殖衛生管理および魚介類疾病に関する最新かつ専門的知識や、魚類防疫員に協力する者として必要な知識、技術についての講義、実技研修	40名を下限とする	年1～2回開催し、1回10時間程度	公益社団法人日本水産資源保護協会又は研修設備等が完備された場所
選択コース	地方公共団体等が推薦する者であって養殖衛生管理対策等に協力する可能性のある者	養殖衛生管理対策等に協力する者として必要な知識、技術を本科で実施する講義、実技研修のうちから選択	基礎コース 実習コース 専門コース 5名を下限とする	各コース年1回開催	基礎コース7月～8月 実習コース8月～9月 専門コース11月～12月 公益社団法人日本水産資源保護協会又は研修設備等が完備された場所

# 1. 本科コース

地方公共団体等が推薦する者を対象として、養殖衛生管理技術者として必要な基礎知識、技術の講義、実技研修を行うもので、基礎コース～専門コースを受講して修了する。なお、1年に複数コースを受講することは可とする。

平成 30 年度 本科コース構成

基礎コース	時間	実習コース	時間	専門コース	時間
持続的養殖生産確保法*	1	細菌実習	12	魚類免疫学	6
医薬品医療機器等法*	1	ウイルス実習	12	魚類病理学	6
食品衛生法*	2	真菌実習	10	魚類生理学	6
養殖漁場環境論*	2	寄生虫実習	10	魚類飼養学	6
魚病学総論*	4	特論・演習Ⅰ	2	魚類薬理学	6
ウイルス病	12	特論・演習Ⅱ	2	特論・演習	10
細菌病	14				
寄生虫病	10				
真菌病	6				
藻類学総論	4				
小計	56	小計	48	小計	40

## 1) 基礎コース

- (1) 開催日時 平成 30 年 7 月 8 日（日）～7 月 19 日（木）
- (2) 開催場所 公益社団法人日本水産資源保護協会 研修室  
〒104-0044 東京都中央区明石町 1-1 東和明石ビル 3F
- (3) 受講者 36 名（行政科目（\*印）のみ受講者 2 名）
- (4) 特記事項

平成 30 年度から行政コースが廃止され、基礎コースに統合された。旧行政コースの科目（\*印）のみの受講も可とする。

## 2) 実習コース

- (1) 開催日時 平成 30 年 8 月 21 日（火）～8 月 31 日（金）
- (2) 開催場所 寄生虫実習、真菌実習  
公益社団法人日本水産資源保護協会  
（〒104-0044 東京都中央区明石町 1-1 東和明石ビル 3F）  
ウイルス実習、細菌実習ならびに特論・演習Ⅰ、Ⅱ  
東京海洋大学 6 号館 4 階 大学院学生実験室 401  
（〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7）
- (3) 受講者 26 名
- (4) 特記事項

特論として「魚病細菌の薬剤耐性について」、「間欠ろ過式好氣的脱窒装置を用いた完全閉鎖型養魚システムについて」の2題の特別講義が行われた。

### 3) 専門コース

- (1) 開催日時 平成30年11月26日(月)～12月4日(火)
- (2) 開催場所 公益社団法人日本水産資源保護協会 研修室  
〒104-0044 東京都中央区明石町1-1 東和明石ビル3F
- (3) 受講者 21名
- (4) 特記事項

特論・演習では、「外国からの疾病の侵入とその問題点」、「養殖魚類における遺伝情報を活用したゲノム育種研究の現状と展望」、「養殖現場における魚病診断・対策」の3題の特別講義が行われたほか、「水産防疫のあり方と取り組みについて」を議題に、研修生による水産防疫に対する考えや所属機関での水産防疫に関する取り組み例・問題点の紹介および意見交換を行った。

## 2. 特別コース

本研修は、養殖衛生管理および魚介類疾病に関する最新かつ専門的知識や技術の習得を目的としており、本年度は①「水産防疫対象疾病の検査法等について」、②「薬剤感受性試験の実施方法について」の2項目について開催した。

### ①「水産防疫対象疾病の検査法等について」

- (1) 開催日時 平成30年10月4日(木)～5日(金)
- (2) 開催場所 公益社団法人日本水産資源保護協会 研修室  
〒104-0044 東京都中央区明石町1-1 東和明石ビル3F
- (3) 受講者 16名
- (4) 特記事項

本研修は、水産防疫対策の見直しに伴い新たに追加された対象疾病及び対象動物についての解説と対象動物の検査に必要な目視検査のポイントや精密検査に用いるサンプルの適切な採取方法等を学び、輸入検疫の現場において円滑に業務が実施できるよう動物検疫所職員の育成を目的とし開催された。

### ②「薬剤感受性試験の実施方法について」

- (1) 開催日時 平成30年12月17日(月)～18日(火)
- (2) 開催場所 農林水産省 動物医薬品検査所研修室(第2庁舎3階)  
〒185-8511 東京都国分寺市戸倉1-15-1
- (3) 受講者 16名
- (4) 特記事項

本研修は、水産用抗菌剤の適正使用を指導する体制を構築するため、都道府県等の魚類防疫員等を対象に薬剤感受性試験に関する講義および実技の研修を行い、薬剤感受性試験に関する知識と技術の修得を図ることを目的として開催された。

### 3. 選択コース

地方公共団体等が推薦する者で、養殖衛生管理等に協力する可能性のある者に対し、養殖衛生管理等に協力する者として必要な知識および技術を習得する機会を与えるために設置した研修コースで、受講者が養殖衛生管理技術者養成本科コースの科目を選択して受講するものである。本年度の受講申請者なし。